

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集管理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 塵芥収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	ごみ減量化と、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、今後さらにごみ排出量の削減に努める必要がある。そのため、適正な収集を実施するための管理を行う必要性が高まっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
市内全域	塵芥処理に関する一般的管理運営を行う。廃棄物の適正処理の推進を図る。	塵芥処理に関する一般的管理運営を行い、廃棄物の適正処理の推進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		403	342		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
塵芥処理に関する一般的管理運営を行い、廃棄物の適正処理を図ることは、市の施策として必要と考える。

※事業費と財源内訳

決算額	342	内訳	国費	県費	市債	他	一般	342
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	清掃一般管理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	01 清掃総務費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 清掃一般管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	ごみ減量化と、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、今後さらにごみ排出量の削減に努める必要がある。そのため、ごみ処理に関する各種の情報を収集し、調査研究を進める必要性が高まっている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)				意図 (どのような状態にする)	
市民	清掃業務に関する一般的管理運営を行う。				清掃業務に関する一般管理運営を行い、ごみの適正処理の推進を図る。	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費		千円		2,199	2,235	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
ごみ処理業務に関して、適正な処理と更なる減量化が必要な状況であり、各種情報を入手するため各協議会に参加する必要がある。また、事務に係る庶務業務も含まれていることなど、業務を維持して実施する必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	2,235	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,235
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	環境美化センター維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	01 清掃総務費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	020 環境美化センター維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	施設の老朽化が進んでいる。
-------	---------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
環境美化センター	環境美化センター施設の維持及び管理業務を実施する。	ごみ収集及びし尿収集業務の適切な運営を実施するために、環境美化センター施設の維持を実施する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		32,342	31,322		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
環境美化センターの維持管理に関し、委託業務も含めて適切に実施されている。

※事業費と財源内訳

決算額	31,322	内訳	国費	県費	市債	他	249	一般	31,073
-----	--------	----	----	----	----	---	-----	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	集団回収奨励事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 ごみ減量化推進事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	加古川市資源ごみ集団回収運動奨励金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	資源化率向上のため、可燃ごみの中に多く含まれている雑紙の回収量を増加させる必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
集団回収運動を行う市内各団体	集団回収された資源ごみ(紙類・衣類)について、回収量1kgあたり7円の奨励金を交付する。	資源回収意欲を高め、資源物の回収量を増加させる。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
活動団体数	団体	343	347	339		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
集団回収奨励金申請件数	件	1,205	1,102	1,079	1,200	平成30年度
集団回収回数	回	2,706	2,623	2,542	2,700	平成30年度

活動指標分析結果	集団回収の回数が増加したが、資源ごみの回収量が減少した。			
事業費	千円	54,217	51,179	44,480

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
資源ごみ回収量	キログラム		9,000,000	7,500,000	7,500,000	平成30年度
		上段:計画値/下段:実績値	7,739,882	7,305,780	6,348,822	
資源化率	%				25	平成27年度
		上段:計画値/下段:実績値	11.75	11.89	11.3	
		上段:計画値/下段:実績値				

成果指標分析結果	広報等でPRをしたが、資源ごみ回収量は前年度より減少し、目標値には達していない。少子高齢化による団体活動の低下が大きく関わっていると考えられる。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地がありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
資源化率を高める必要性のある品目(雑紙)の回収量を増加させる工夫が必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	44,480	内訳	国費	県費	市債	他	一般	44,480
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	分別収集啓発事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政 策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施 策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期 間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 塵芥収集管理事業
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	高度成長時代のごみ排出量の増大期を経て、最近の3Rの推進の効果もあり、ごみの細分化が進み、ごみ排出についてのルールがきめ細やかになった反面、そのルールの理解が難しくなった面がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
市内全域	ごみ収集日程表の作成・配布、ごみ分別指導業務の委託を行う。	ごみ収集日程表の作成・配布、ごみ分別指導業務の委託等により、ごみ分別の指導・啓発を行う。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,390	268,053		
加古川市世帯数	世帯		102,138	102,989		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
収集世帯数	世帯		102,138	102,989		平成27年度
ごみ日程表配布数	枚		130,000	130,000		平成27年度
保健衛生推進委員研修会開催回数	回		26	26		平成27年度
活動指標分析結果	ごみ日程表(点字版含む)を全戸配布したことにより、すべての市民に収集日程及び分別ルールの周知を図った。保衛協研修会の開催については、市並びに各地区での研修会を実施することにより、ごみ減量・分別による資源化の推進について意識が高まったと考えられる。					
事業費	千円		19,077	18,983		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
資源ごみ収集量	t			4,000	3,033	平成34年度
上段:計画値/下段:実績値			3,857	3,852		
資源化率(家庭系ごみに占める資源ごみの割合)	%			7	7	平成34年度
上段:計画値/下段:実績値			6.5	6.6		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	前年度に比べ、資源ごみ収集量及び資源化率に大きな変動はなかった。H24.7施行の資源物持ち去り禁止条例の効果が浸透し、収集量等が安定してきていると考えられる。今後は可燃ごみの減量化を推進することによって資源化率の向上を図る必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市民生活に密着したごみ排出について、排出方法及び収集日程等のルールを周知し、適正にごみを排出するよう指導することにより、安全で衛生的な町づくりに寄与している。持続可能な循環型社会の実現に向け、環境負荷を低減し、さらにごみ減量化と資源化を推進するためには、本事業の継続が必要と考える。

※事業費と財源内訳

決算額	18,983	内訳	国費	県費	市債	他	一般	18,983
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	ごみステーション整備事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 塵芥収集管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	近年、開発行為を行う場合はごみステーションの設置義務等を求めているが、いわゆるミニ開発を続けた地域では世帯数が多いにも係らず、ごみステーションが面積、箇所数ともに不足している課題がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
町内会	町内会がごみステーションを設置、整備する場合に要する費用の補助を行う。またごみステーションに分別指導看板を設置する。				適正なごみステーションの整備を行うことにより、地域の環境美化育成を図る。	
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
単位町内会・自治会数		町内会・自治会		321	321	
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度
ごみステーション整備箇所数		箇所		21	25	25 平成27年度
分別看板配布枚数		枚		40	50	50 平成27年度
活動指標分析結果	25年度は水路上にステーションを設置するような大規模な整備が10件あった。収集効率を高める効果があるごみステーションの統合については実績がなかった。看板については新規設置や汚損による交換が主である。					
事業費		千円		1,359	1,712	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標年度
ごみステーション数		箇所			3,380	3,400 平成27年度
上段:計画値/下段:実績値				3,362	3,399	
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	世帯数が漸増し、市域全域で宅地のスプロール化が進むなか、ごみステーション数は37件増加した。収集作業の効率化、安全性の確保を図るためには、適正なごみステーションの設置、整備が求められる。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
ごみ収集が円滑に行われるとともに、地域の生活環境及び公衆衛生が維持される。またごみステーション整備補助に関しては、受益者に応分の負担がある事業のため、費用対効果が高い事業であると考えられる。市内にある約3,400箇所すべてを一度に整備することは困難なため、計画的に補助整備を行うことが必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	1,712	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,712
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 塵芥収集事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	人口のピーク時と比較してごみ排出量は減少傾向にあるが、今後も、可燃ごみの減量化、ごみ区分の最適化による資源化率の向上により、ごみ排出量の削減に努める必要がある。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
世帯(一般家庭)	一般家庭から排出されるごみを収集する。	市内から排出され収集運搬された可燃ごみ等を適正に収集、運搬することにより良好な住環境の保持を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,390	268,053		
世帯数	世帯		102,138	102,989		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
収集人口	人		268,390	268,053		平成27年度

活動指標分析結果	人口増加のピーク期を過ぎ、前年度に比べて緩やかに人口の減少化が見られた。一方で世帯数は若干増加していることから、いわゆる核家族化が進んでいることが伺える。				
事業費	千円		229,752	201,290	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
家庭系可燃ごみ収集量 <small>上段:計画値/下段:実績値</small>	t		49,952	49,860	37,949	平成34年度
市民1人1日当りの可燃ごみ排出量 <small>上段:計画値/下段:実績値</small>	g		511	510	394	平成34年度
				503		

成果指標分析結果	各ごみ減量施策の効果、人口減の影響もあり、家庭系可燃ごみ収集量及び市民1人1日あたりの収集量は減少した。しかしながら、34年度目標値にあるごみ20%減量に向け、さらなるごみ減量化を進める必要がある。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	一部適正でなく、早急に見直す必要がある

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
決められた場所、時間、ごみ出しのルールを守って排出されたごみについては、当日中に全量収集しており、安全で衛生的な町づくりに寄与している。今後、市直営/委託比率の見直しや、ごみ発生抑制や分別指導によるごみ減量化により、効率的なごみ収集・運搬を行う余地がある。既存の委託地域については5年毎に入札を実施し、経費の節減を図ることができている。	

※事業費と財源内訳

決算額	201,290	内訳	国費	県費	市債	他	一般	201,290
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	ごみ減量化啓発事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政 策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施 策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期 間	～ 永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 ごみ減量化推進事業
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	高度成長時代のごみ排出量の増大期を経て、最近の3Rの推進の効果もあり、リサイクルに対する意識は高くなったが、リデュースの取組みを高める必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市内小学校・中学校に通う生徒、世帯	●小・中学生への3Rに関する標語・ポスターの作成機会の創出●不要品交換情報誌を発行●レジ袋削減の啓発	市民からごみ減量に対する意識を持ってもらい、家庭系ごみの減量化を促進する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
市内の学校園に通う幼児・児童・生徒数	人		210	214		
世帯数	世帯		102,138	102,989		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
ポスターコンクール・標語応募件数	件		210	214		
バトン発行回数	回		12	12		

活動指標分析結果	市内小・中学校に呼びかけ3R促進のポスター・標語の作品を提出してもらった。また、全国で優秀賞をとった作品はパネルにしてPR活動に利用した。リサイクル情報誌バトンは毎月発行し、市民センター等で掲出し情報提供を行った。					
事業費	千円		161	54		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
バトン成立件数	件		7	15	40	平成30年度
家庭系可燃ごみ収集量	t		50,736	50,016	38,460	平成34年度

成果指標分析結果	低年齢期からの3R促進への意識付けができポスター・標語に214件の応募があった。また、リサイクル情報誌バトンによる交換成立は15件となる。家庭系可燃ごみ収集量は前年より720t削減されている。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
多くの学生が、3Rに関する標語やポスター作成に関することにより、減量意識の普及・向上につながっている。また、不用品の再利用制度も、市民の意識向上が高まると共にごみ減量に繋がるものとする。減量啓発効果の高いレジ袋削減(マイバック持参)運動については、協力店舗を増やす新たな施策の導入が必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	54	内訳	国費	県費	市債	他	一般	54
-----	----	----	----	----	----	---	----	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	資源ごみ収集事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	015 資源ごみ収集事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装リサイクル法、小型家電リサイクル法		

【現状と課題】

現状と課題	ごみ区分の最適化により資源化率を向上させ、今後さらに可燃ごみをはじめとするごみ排出量の削減に努める必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
世帯(一般家庭)	月1回各資源ごみを収集し、中間処理を経て再生事業者等に売却または引き渡す。				ごみを燃やすことや最終処分場の埋め立てを避け、環境への負担を減らす。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人		268,390	268,053		
世帯数	世帯		102,138	102,989		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
収集人口	人		268,390	268,053		平成27年度
活動指標分析結果	人口増加のピーク期を過ぎ、前年度に比べて緩やかに人口の減少化が見られた。一方で世帯数は若干増加していることから、いわゆる核家族化が進んでいることが伺える。					
事業費	千円		76,031	72,422		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
資源ごみ収集量	t			4,000	3,033	平成34年度
上段:計画値/下段:実績値			3,857	3,852		
資源化率	%			13	25	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			11.89	11.3		
資源化率(家庭系ごみに占める資源ごみの割合)	%			7	7	平成34年度
上段:計画値/下段:実績値			6.5	6.6		
成果指標分析結果	前年度に比べ、資源ごみ収集量及び資源化率に大きな変動はなかった。H24.7施行の資源物持ち去り禁止条例の効果が浸透し、収集量等が安定してきていると考えられる。今後は可燃ごみの減量化を推進することによって資源化率の向上を図る必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
決められた場所、時間、ごみ出しのルールを守って排出されたごみについては、当日中に全量収集しており、安全で衛生的な町づくりに寄与している。今後、ごみ発生抑制や分別指導によるごみ減量化により、効率的なごみ収集・運搬を行う余地がある。資源ごみ収集はすべて委託しており、適切な時期に入札を実施し、経費の節減を図ることができている。	

※事業費と財源内訳

決算額	72,422	内訳	国費	県費	市債	他	一般	72,422
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	産業廃棄物処理事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成24年度～永年	目	01 清掃総務費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	030 産業廃棄物処理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、循環型社会形成推進基本法、廃棄物処理法		

【現状と課題】

現状と課題	事業系の金属類等は、定められた処理が義務付けられており、適切に処理する必要がある。環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与するため、廃棄物の分別はもちろん、更なる減量が求められている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市域全体(本庁舎及び各市施設)	産業廃棄物の収集、運搬及び処理を行う。	加古川市が事業者として排出する産業廃棄物を適正に処理することにより、環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与する。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
本庁舎及び各施設	箇所		162	160		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
混合廃棄物持込量	m ³		128	136	120	平成27年度
廃蛍光灯持込量	kg		2,450	2,110	2,400	平成27年度

活動指標分析結果	24年度から実施した事業であり、処理量データが少ないためトレンド傾向の分析が難しいが、現在の処理量を基準に次年度以降の推移を注視したいと考える。				
事業費	千円		1,841	2,098	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
混合廃棄物処理量	m ³		128	136	120	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
廃蛍光灯処理量	kg		2,450	2,110	2,400	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	廃蛍光灯を含む混合廃棄物全般を収集、運搬及び処理ができる処理業者と委託契約することにより、持ち込まれた産廃の量を適正に処理する必要がある。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	義務的事業
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
資源ごみの分別を徹底しごみ減量を図り、市が排出する廃棄物の減量を進める必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	2,098	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,098
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	緊急雇用対策資源ごみ夜間持ち去りパトロール事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成25年度～平成25年度	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	025 緊急雇用対策資源ごみ夜間持ち去りパトロール事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	パトロールを実施している時間帯は持ち去り行為が減少するが、パトロールのない時間帯になると持ち去り行為者が出没する。パトロールの実施時間帯を変則的に実施するなど、より効果の高い実施方法の検討が必要である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
家庭系一般廃棄物(資源ごみ等)	業者に委託して資源ごみ等の持ち去り禁止夜間(早朝)パトロールを実施する。	実施困難な業務を外部委託により実施し、資源ごみ等の持ち去り禁止を強化する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
世帯数	世帯			102,989		
加古川市人口(10/1付推計人口)	人			268,053		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
パトロール実施日数	日			140		
活動指標分析結果	予定通りの実施日数である。					
事業費	千円			3,940		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
資源ごみ収集量	t			3,852	4,000	平成27年度
成果指標分析結果	平成24年度とはほぼ同数の量である。平成23年度と比較すると646t(20%)増となっており、持ち去り禁止条例の効果は維持されている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	事業完了
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響はない
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	事業完了
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	事業完了
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
緊急雇用事業として事業を実施したが、内容を変更し事業の有効性を確保しながら他の事業内で実施する。

※事業費と財源内訳

決算額	3,940	内訳	国費	県費	3,940	市債		他		一般
-----	-------	----	----	----	-------	----	--	---	--	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	塵芥収集車両購入事業		
部局名	環境部	課(室)名	環境第1課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	02 塵芥処理費
事業区分	⑦投資事業	細目	020 塵芥収集車両購入事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	人口増加のピーク期を過ぎ、ごみ収集量も緩やかな減少傾向にある。しかしながら、核家族化の進行に伴う世帯数の増加、ごみ分別の多様化により収集作業を取巻く環境は軽減されていない。限られた時間の中でより安全に、より迅速に収集する責務を果たすため、車両の更新は必須である。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)				意図 (どのような状態にする)	
塵芥収集車両	購入後10年以上経過した塵芥収集車両の計画的な更新を行う。				老朽化した塵芥収集車を更新することにより、修繕費用を節約し、安全で効率的なごみ収集を行う。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
塵芥収集車両数	台		22	22		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
更新車両台数	台		2	2	2	平成27年度
活動指標分析結果	経過年数及び車両の損耗の状態を勘案し、26年度は1台を更新することになっている。しかし、導入後10年を経過し、20万キロを超過している車両も多数あるため、来年度以降も計画的に車両を更新する必要がある。					
事業費	千円		11,862	11,868		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
修繕発注件数	件		86	100	80	平成27年度
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	導入後10年を経過し、20万キロを超過している車両が多数あるため、大小併せた修繕件数が大幅に増加している。ゆえに購入コストと修繕コスト並びに安全性を精査し、今後の更新計画を立てる必要がある。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
購入後10年を経過している車両も多く、計画的に車両更新ができない場合、移動や収集作業中に故障するなど迅速で安全なごみ収集ができない事態が発生することが予想されるため、本事業の実施は必要と考える。

※事業費と財源内訳

決算額	11,868	内訳	国費	2,960	県費		市債	8,800	他		一般	108
-----	--------	----	----	-------	----	--	----	-------	---	--	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うちのよいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成15年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 新クリーンセンター事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、ダイオキシン類特別措置法		

【現状と課題】

現状と課題	CO2排出量削減、省エネルギーへの取組など社会的要請がある。また、焼却残渣の埋立処分量の削減や資源化率の向上も求められている。周辺の環境整備事業として旧クリーンセンター跡地、いずみ荘増改築を平成25年度に行い、「いずみプラザ」として平成26年4月にオープンした。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
新クリーンセンターの業務統計、最終処分の事務(竜ヶ池・大阪湾フェニックス)、新クリーンセンター運営協議会、クリーンセンターにおける事務統計(車両管理等)等	年間計画に基づく適切な予算執行。運営は長期包括契約先の(株)加古川環境サービスより契約書による各種運営管理資料を入手し確認。焼却灰は大阪湾広域臨海環境整備センターとの協議による搬出量の計画、溶融飛灰の再資源化(山元還元)の計画、新クリーンセンター運営協議会については年2回以上開催し、運転による周辺環境測定結果等と周辺環境整備を協議、報告する。その他の事務については、各種実績により予算、決算を作成する。				新クリーンセンターの円滑かつ適正な維持管理を行う。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		15,840	17,927		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
一般廃棄物の処理は行政の責務であり、焼却による減容化については、その必要性から引き続き取組んでゆく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	17,927	内訳	国費	県費	市債	他	一般	17,927
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	定期的なパトロールの結果悪質な不法投棄は見当たらない。
-------	-----------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
竜ヶ池処理場	竜ヶ池処理場の施設及び車両等の管理	埋立処分場と排水処理場を適切に管理する				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費		千円		1,739	1,840	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般の事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 適切に管理している

※事業費と財源内訳

決算額	1,840	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,840
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池処理場維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	浸出水の汚染状態も非常に少なくなり、処理にかかる負荷も低減している。課題としては、埋立完了までの間の老朽化した施設の管理。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
竜ヶ池処理場	業務委託による竜ヶ池処理場の浸出水の適正な処理と施設の維持管理	周囲環境の保全及び放流基準の遵守				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円	16,589	16,082	18,528		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成28年度以降は、浸出水の下水道への直接放流となるが、引き続き基準を遵守した浸出水の点検管理を行い、縮減された施設の維持管理を行う。

※事業費と財源内訳

決算額	18,528	内訳	国費	県費	市債	他	一般	18,528
-----	--------	----	----	----	----	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター運営管理委託事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成19年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 新クリーンセンター運営管理委託事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	大気汚染防止法、下水道法、ダイオキシン類対策特別措置法、廃掃法等		

【現状と課題】

現状と課題	ごみの発生及び排出の抑制と環境負荷の低減が課題
-------	-------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
焼却炉運転全般	業者 (㈱加古川環境サービス) への長期委託による運営管理	一般廃棄物の焼却処理の適正な運営管理				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		1,658,369	1,566,985		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
適正な運営管理が図られている

※事業費と財源内訳

決算額	1,566,985	内訳	国費	県費	市債	他	一般	1,566,985
-----	-----------	----	----	----	----	---	----	-----------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	大阪湾広域臨海環境整備協議会負担金事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和62年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	035 大阪湾広域臨海環境整備協議会負担金事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	第2期埋立処分場の建設工事を平成11年度より開始。1期は平成30年度、2期は平成39年度に完成予定
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
近畿圏の各自自治体(近畿2府4県のうち、168市町村)	法「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づく最終処分場の確保	廃棄物の最終処分

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
フェニックス事業への一般廃棄物搬入量	トン		7,248	8,762		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
フェニックス事業への一般廃棄物搬入量	トン		7,248	8,762		

活動指標分析結果	前年度実績を基にフェニックスへ廃棄物搬入量を申請している。				
事業費	千円		4,832	743	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
フェニックス事業への一般廃棄物搬入量(実績)	トン		7,248	9,617	4,400	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	申請量以内の廃棄物を搬入している。搬入料金はあらかじめ設定されているため、単位当りのコストは変化しない。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
加古川市単独で最終処分場を設置することは困難であることから、これまでどおり「大阪湾フェニックス計画」に頼らざるをえない状況である。

※事業費と財源内訳

決算額	743	内訳	国費	県費	市債	600	他	一般	143
-----	-----	----	----	----	----	-----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	焼却残渣処理事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政 策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施 策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期 間	昭和54年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 新クリーンセンター事業
地 区 別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、大気汚染防止法、ダイオキシン類特別措置法		

【現状と課題】

現状と課題	最終処分委託量の減量化(平成12年度比60%減)を求められている。
-------	-----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
新クリーンセンターにおいてごみの焼却に伴い発生する、焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰	新クリーンセンターにおいて発生した飛灰及び溶融飛灰の収集運搬及び処分を委託にて処理する。焼却灰埋立処分委託、焼却灰搬送車業務委託、山元還元処理費委託、溶融飛灰運搬業務がある。	焼却残渣物の適切な処理を行う。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰	トン		10,547	11,188		
資源化物(溶融飛灰)	トン		671	926		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰	トン		10,547	11,188		
資源化物(溶融飛灰)	トン		671	926		
活動指標分析結果	資源化率7.8%					
事業費	千円		87,889	105,657		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
焼却飛灰、不燃物、スラグ、溶融飛灰(実績)	トン				10,000	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値			10,547	12,008		
資源化物(実績)	トン				5,300	平成26年度
上段:計画値/下段:実績値			671	406		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	資源化率3.4%					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(大)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 埋立処分場を将来にわたり確保するため、埋立処分量の削減が求められている。
--

※事業費と財源内訳

決算額	105,657	内訳	国費	県費	市債	他	一般	105,657
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	竜ヶ池灰埋立最終処分事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	昭和55年度～平成33年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	020 竜ヶ池処理場維持補修事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		

【現状と課題】

現状と課題	クリーンセンターで発生する廃棄物の内スラグを処理
-------	--------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
竜ヶ池灰埋立最終処分場	クリーンセンターで発生したスラグの埋立及び整地	計画的な焼却残渣の埋立処理

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
スラグの搬入量	トン		1,000	1,000		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
スラグ搬入量	トン		1,000	1,000		

活動指標分析結果	前年度(23年度)の溶融炉の稼働状況等より算出した数値であり、現状に極力あわせている。				
事業費	千円		1,654	2,525	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
スラグ搬入量(実績)	トン				0	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			2,628	1,293		
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	25年度は溶融灰のセメント原料化(26年4月より実施)準備の為、10月に溶融炉を停止している。指標はクリアしているが前年度より少ない搬入量となっている。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
スラグの埋立は25年度で終了。26年度以降は、セメント原料化へ移行の為、現時点では埋立計画はない。(33年度までには埋立完了予定)

※事業費と財源内訳

決算額	2,525	内訳	国費	県費	市債	他	一般	2,525
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	資源化センター管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成24年度～永年	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	055 資源化センター管理運営事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	「大量生産・大量消費・大量廃棄の社会」から「循環型社会」へのライフスタイルの見直しが求められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
再資源化できる廃棄物を処分しようとしている市民及び事業者	再資源化できる紙ごみを無料で受け入れ、再生業者に売却すると共に、市内から回収された蛍光灯・乾電池を処分業者に搬出する。	市民及び事業者の資源のリサイクルに対する意識を高める。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
全市民(団体・法人等を含む)	人		268,000	268,000		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
施設利用者数	人		1,000	1,000		
紙ごみ受入量	kg		100,000	20,000		

活動指標分析結果	事業開始年度により、市の紙資源回収量から積算したため、予測値が高くなっている。				
事業費	千円		1,503	4,659	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
施設利用人数(実績) 上段:計画値/下段:実績値	人		373	444	1,200	平成27年度
紙ごみ受入量(実績) 上段:計画値/下段:実績値	kg		21,920	26,200	30,000	平成27年度

成果指標分析結果	紙の受け入れについては、目標を達成したが、さらに受入量を増やしたい。
----------	------------------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は小
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握する必要がない/義務的の事業
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 事業開始2年目で受入量は前年度より増えたが、さらなるPRが必要である。

※事業費と財源内訳

決算額	4,659	内訳	国費	県費	市債	他	一般	4,659
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	新クリーンセンター周辺環境整備事業		
部局名	環境部	課(室)名	クリーンセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	平成23年度～平成25年度	目	04 クリーンセンター費
事業区分	⑦投資事業	細目	050 新クリーンセンター周辺環境整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	施設の老朽化にともない、従来の老人福祉施設の位置づけを改め、全市民が広く利用できる施設を建設する。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
市民(こどもから高齢者)	グラウンド・ゴルフ場、幼児が遊べる芝生広場やキッズルーム、集会室を提供する。	高齢者の健康増進と地域の人々のふれあいと交流が促進される。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
全市民(団体・法人等を含む)	人		8,604	0		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
施設利用者数	人		8,604	0		

活動指標分析結果	平成24年度の施設利用者は8,604人であるが増改築工事後の施設は、従来の老人福祉施設の位置づけを改め、全市民が広く利用できるような施設にするため、単純に比較できない。				
事業費	千円		7,046	245,618	

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
施設利用人数(実績)	人		8,604	0	24,000	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	いずみプラザを建設中のため、施設利用人数はない。
----------	--------------------------

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要がありますか。	評価	対象を変える必要がある
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
利用者数は大幅に増加しているが施設が老朽化していることもあり、老人福祉センターとしての役割を終えたものとして平成25年度に取り壊す。平成25年度は新クリーンセンター周辺環境整備事業としてより市民のニーズに合ったいずみプラザを建設する。	

※事業費と財源内訳

決算額	245,618	内訳	国費	県費	市債	180,800	他	一般	64,818
-----	---------	----	----	----	----	---------	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター管理運営事業		
部局名	環境部	課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	03 リサイクルセンター費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 リサイクルセンター管理事業
地区別	両荘地区		
関連根拠法令等	加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	技能労務職員の退職者不補充施策により、職員数が減少した。
-------	------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)			
リサイクルセンター	直営及び民間委託により管理・運営する。	不燃ごみ・粗大ごみを適正処理する。			
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外					
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外					
事業費	千円	92,274	92,884	101,244	
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市としての義務的事業であるため、委託業務等の拡大等によりコスト削減を図りつつ、今後も維持していく必要がある。
--

※事業費と財源内訳

決算額	101,244	内訳	国費	県費	市債	他	一般	101,244
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	リサイクルセンター維持補修事業		
部局名	環境部	課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	03 リサイクルセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 リサイクルセンター維持補修事業
地区別	両荘地区		
関連根拠法令等	加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、労働安全衛生法、クレーン等安全規則、計量法		

【現状と課題】

現状と課題	施設老朽化と共に故障等が増加し、点検による指摘も増えてきている。
-------	----------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)			
ごみ処理の電気・機械設備	月次点検・年次点検を行う。	施設の安全運転・延命化			
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外					
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外					
事業費	千円	125,967	119,103	105,403	
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
市としての義務的的事业であるため、コスト削減を図りつつ今後も継続して事業を行っていく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	105,403	内訳	国費	県費	市債	他	1,767	一般	103,636
-----	---------	----	----	----	----	---	-------	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	投棄場管理事業		
部局名	環境部	課(室)名	リサイクルセンター

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	02 資源の循環と環境美化を推進する	款	04 衛生費
施策	01 ごみを減らし、リサイクルを進める	項	02 清掃費
期間	～ 永年	目	03 リサイクルセンター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	015 投棄場管理事業
地区別	両荘地区		
関連根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、加古川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	市内に処分場のごみ受入残容量が少ない。
-------	---------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
磐東第2 処分場	掘り起こし再生処理を実施し、可燃物はクリーンセンターへ、破砕必要なものはリサイクルセンターへ、不燃物はフェニックスへ搬出	磐東第2 処分場の延命化				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		36,435	53,682		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
市としての義務的業務であるため、業務委託、車両レンタル等の業務の競争性を確保し、コスト削減を図りつつ、今後も維持していく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	53,682	内訳	国費	県費	市債	4,500	他	一般	49,182
-----	--------	----	----	----	----	-------	---	----	--------